

たいたい

議会だより

坂井在住の^{しいや}椎谷さんファミリー

左から 友陽(ともあき)さん 6歳
風友(ふゆ)さん 10歳
麻友(まゆ)さん 6歳

No.83

令和6年11月14日
(2024年)

【題字】飯沼 優貴 さん



決算審査特別委員会

2～4ページ

任期後半の議会人事

5ページ

一般質問(8人)

6～13ページ

常任委員会審査/令和6年 第3回定例会 議決結果

14～15ページ

意見書の提出/委員会視察報告

16ページ

中1ハローワーク職ナビ報告/閉会中調査のその後

17ページ

胎内市議会
フェイスブック



市議会の活動や話題
を発信していきます。
ぜひ、ご覧ください。

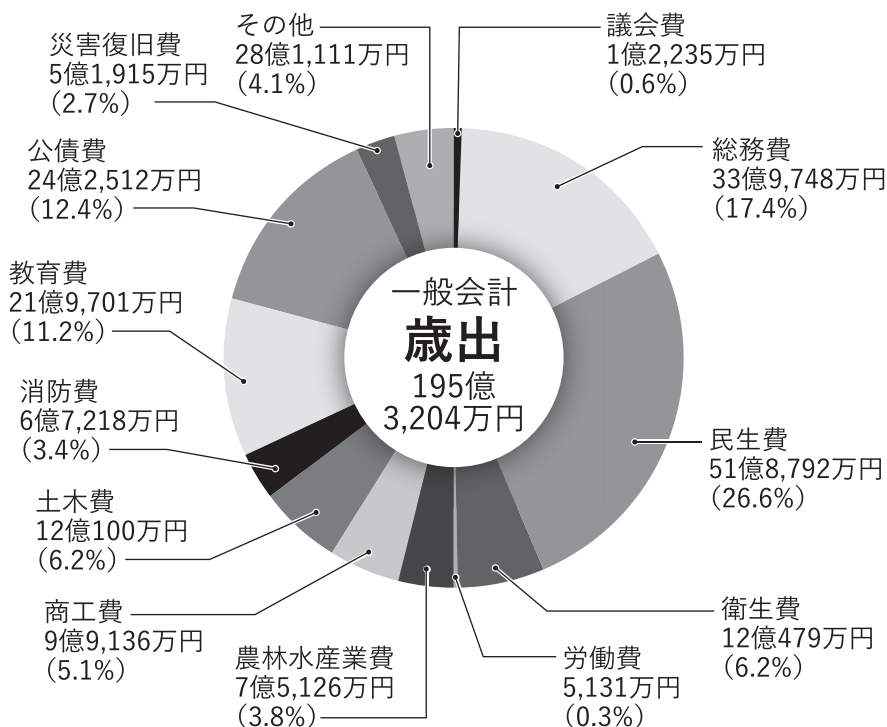
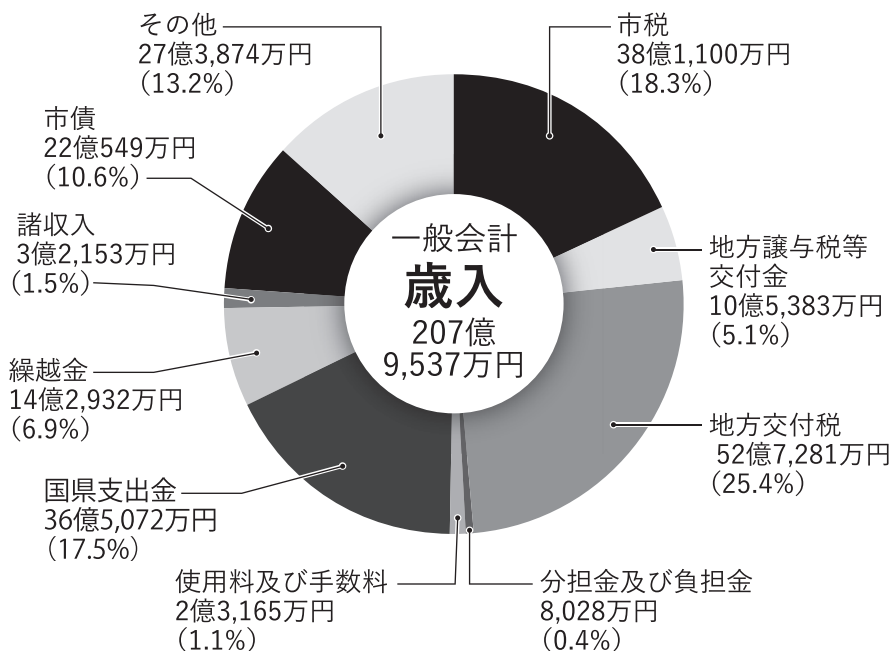
行政情報発信アプリ
マチイロ



「たいたい議会だより」
をスマートフォン等か
らご覧いただけます。

※事前にアプリの
ダウンロードが
必要です。

令和5年度 歳入歳出決算を認定



令和6年第3回定例会は、9月9日から10月3日までの25日間にわたり開催されました。定例会には、補正予算12件、条例制定1件、条例の一部改正2件、決算の認定12件、人事案件1件、その他2件の議案が市長から提出されました。また、議員からは、発議2件が提案され審議の結果、

全て原案のとおり、可決（認定）されました。令和5年度の一般会計決算の状況は、歳入では、前年度比1.6%減の総額207億9千537万円になりました。歳出では、前年度比0.9%減の総額195億3千204万円で歳入歳出いずれも減額となりました。

◎各会計の決算状況と採決の結果

会 計		歳 入	歳 出	採決結果
一般会計		207億9,537万円	195億3,204万円	認定
特別会計	国民健康保険事業	32億1,417万円	30億2,476万円	認定
	後期高齢者医療	3億5,090万円	3億4,341万円	認定
	介護保険事業	39億3,820万円	36億5,997万円	認定
	黒川診療所運営事業	5,231万円	4,866万円	認定
	地域産業振興事業	1億7,890万円	1億7,863万円	認定
	鹿ノ俣発電所運営事業	1億3,579万円	1億2,449万円	認定

会 計	収益的収支		資本的収支		採決結果	
	収 入	支 出	収 入	支 出		
公営企業会計	公共下水道事業	11億6,814万円	8億8,853万円	4億5,731万円	9億5,003万円	認定
	農業集落排水事業	7億3,409万円	5億2,605万円	3億7,487万円	6億2,926万円	認定
	水道事業	6億9,737万円	5億5,842万円	3億6,140万円	5億6,192万円	認定
	簡易水道事業	2億258万円	1億8,166万円	6,737万円	1億2,223万円	認定
	工業用水道事業	1,177万円	1,024万円	138万円	138万円	認定

※ 1万円未満は、四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

総務費

一般会計

質問 テレワークシステム保守業務委託料に係る実績と今後の活用は。

答弁 テレワークシステムはコロナ対策で導入した。利用は延べ15人とどまっている。今後は災害時や働き方改革への活用を検討したい。保守料は利用人数に関わらず定額である。

質問 移住定住促進事業の予算が増加した理由は。

答弁 要件緩和によるところが大きい。お試し移住体験者は8組18人。移住に繋がったのはこれまでに2件。利用時期は春から夏が多い。

質問 結婚や家庭生活の実現を応援するライフデザイン支援事業の成果は。

答弁 結婚支援に力を入れる

令和5年度胎内市一般会計をはじめとする12会計の決算について、全議員（議長と監査委員は除く）で構成する決算審査特別委員会を設置し、2日間にわたり審議を行いました。

主な質疑を紹介します。

るも、結婚件数は令和5年度は63件で横ばいである。結婚意欲を高めるため、出合いの場創出や経済的支援など、多角的な取り組みを行っていきたい。

質問 高齢者運転免許自主返納等支援事業補助金で返納した人数と年齢別内訳は。

答弁 令和5年度は113人が運転免許を自主返納した。年齢別では70代34人、80代70人、90歳以上9人であった。前年度より増加している。



チューリップウェディング



民生費

質問 生活困窮者自立支援事業の令和5年度の相談人数と延べ人数は。

答弁 生活困窮者自立支援事業の令和5年度相談件数は、実人数189人、延べ人数2千734人である。

質問 子育て情報メールの宛先数と今後の配信方法の変更は考えているか。

答弁 子育て情報は「コードモン」というアプリで配信している。登録者数は約700人ほどで、メールではなくアプリで各種お知らせ情報などを発信している。

衛生費

質問 特定空家等代執行工事は、どこの地区で執行され、かかった費用の請求は。

答弁 小長谷地区の空き家に対して、代執行を行った。所有者は市外在住で、代執行にかかった費用の請求に対しての返還資力は不明である。

農林水産業費

質問 緊急農業経営安定対策資金保証料補助金の利用団体と個人の件数は。

答弁 緊急農業経営安定対策資金保証料補助金は、昨年の高温対策ということで、JA胎内市が融資したものに市が保証料を補助したもので、法人6件と個人22件、合計19万3千634円補助した。

土木費

質問 除雪管理システムを導入したことで、業務改善した内容は。

答弁 除雪管理システムの導入により、除雪車の位置情報や稼働時間を把握できるようになったことで、除雪状況を市民に提供できるようになり、除雪時間の把握などの事務処理負担の軽減に繋がった。

教育費

質問 旧鼓岡小学校の現在の使用状況は。

答弁 旧鼓岡小学校は、建物のほとんどを埋蔵文化財保管場所として使用し、一部は、いちごの栽培に活用している。体育館についても文化財の保管場所として使用している。

質問 新潟県少年自然の家に指定管理者制度が導入された後の胎内市と後援会の関係は。

答弁 新潟県少年自然の家は令和7年度から指定管理者に移行する予定である。胎内市との連携や後援会については、今までどおり継続してやっていくという方向で話を進めている。



新潟県少年自然の家



副議長／森本 将司

議長／八幡 元弘

監査委員／渡辺 秀敏

総務文教常任委員会

- | | |
|---------|--------|
| ◎ 笥 智也 | 天木 義人 |
| ○ 坂上 清一 | 渡辺 栄六 |
| 丸山 孝博 | 小野 徳重 |
| 渡辺 宏行 | 羽田野 孝子 |
| 薄田 智 | |

厚生環境常任委員会

- | | |
|----------|-------|
| ◎ 羽田野 孝子 | 渡辺 秀敏 |
| ○ 坂上 隆夫 | 森本 将司 |
| 渡辺 栄六 | 笥 智也 |
| 小野 徳重 | 増子 達也 |
| 坂上 清一 | |

まちづくり常任委員会

- | | |
|---------|-------|
| ◎ 増子 達也 | 渡辺 秀敏 |
| ○ 丸山 孝博 | 森本 将司 |
| 渡辺 宏行 | 坂上 隆夫 |
| 薄田 智 | |
| 天木 義人 | |

議会運営委員会

- | | |
|---------|-------|
| ◎ 薄田 智 | 天木 義人 |
| ○ 渡辺 栄六 | 小野 徳重 |
| 丸山 孝博 | 坂上 清一 |

議会報編集特別委員会

- | | |
|---------|--------|
| ◎ 森本 将司 | 羽田野 孝子 |
| ○ 増子 達也 | 坂上 隆夫 |
| 渡辺 秀敏 | 笥 智也 |

新発田広域事務組合議会議員

- | | |
|-------|--------|
| 八幡 元弘 | 羽田野 孝子 |
| 森本 将司 | 笥 智也 |

新潟県後期高齢者医療 広域連合議会議員

羽田野 孝子

《◎：委員長 ○：副委員長》



任期後半の
新体制スタート



財政計画について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をユーチューブで見ることができます。上記の専用コードからアクセスしてください。



天木 義人 議員

議員 一般会計単年度収支においては、令和4年度、5年度と赤字であり、※1経常収支比率は令和5年度98.6%と厳しい状態である。今後計画されている生涯学習センター、中学校統合建設計画に伴う財源確保は。また、現時点で想定される建設費の見込みは。

市長 生涯学習センターの建設については、民間資金を活用した、※2PPP/※3PFIの導入が可能か検討し、仮にそれがかなわず、国の補助や公債費で賄う場合、建設費で20〜30億円程度と見込んでいます。例えば図書館機能部分を

先行して整え、単年度だけでなく、複数年度にわたり整備していく様に、幅広く考えている。中学校統合建設については、用地の有無と規模や構造、仕様等により大きく異なってくるが、40〜50億円くらい想定される。その財源は、補助率1/2の公立学校施設整備費負担金を活用し、残りの9割を学校教育施設等整備事業債で、残り1割を一般財源で賄う。



中央公民館

市営施設について

議員 ロイヤル胎内パークホテルの会議室料が都会のホテル並みに大変高くなっているが、市民団体等に対して利用しやすいようにできないか。また、冬季間の市民割引利用者が5人と少ないがPRが足りないのでは。

市長 公の利用については割引できるような配慮を申し入れる。

議員 指定管理料の算定で、スキー場、ロイヤル胎内パークホテルの収支をどれくらい見込んでいるのか。

市長 降雪の関係で収支が不安定なので、指定管理料はスキー場の部分を除いて考えている。今現在指定管理料6千万円くらいで、さらに減額していけるよう考えている。



胎内スキー場

※1 経常収支比率

毎年収入で支出をどれだけ賄えているかを示す指標。この比率が高いほど、財政状況が厳しく、新しい事業にお金が回りにくい状態。

※2 PPP

公共サービスの提供において行政と民間企業が協力を提供する仕組みのこと。

※3 PFI

民間の資金や技術を公共施設の運営に活用する手法のこと。

訪問介護利用状況について



羽田野 孝子 議員

議員 今年度、厚生労働省は訪問介護の基本報酬を2〜3%引き下げたため、介護事業所が苦境に立たされたされていると聞く。当市では2か所の事業所で訪問介護が実施されているが、ここ5年間の利用状況等の推移は。

市長 令和元年度と5年度の訪問介護利用件数は1千506件から1千202件で20%減少している。市外の事業所からの提供は16%から20%に増加。訪問介護員数は33人から29人に減少している。

議員 在宅介護を進める上で訪問介護は重要である。人材

確保上、資格取得の援助がでないか。
市長 介護資格の取得に要する研修や試験費用の補助について検討していく。



訪問介護を実施している社会福祉協議会



訪問介護を実施している中条愛広苑

新型コロナウイルスによる副反応について

議員 副反応の申請者の状況については。

市長 本市において国の予防接種後健康被害救済制度による申請が5件あり、4件が認定され、1件が否認されている。なお、ほかに申請の相談が1件寄せられている。

議員 認定された4件の内容は。

健康づくり課長 症状は、肝機能障害、骨格筋機能障害、貧血の3件。亡くなられた方が1件であった。補償は医療費、一時金、葬祭費等である。

会計年度任用職員の実態について

議員 今年度の正規職員数と会計年度任用職員数は。

市長 令和6年9月1日現在の正規職員は335人、会計年度任用職員は290人である。

議員 会計年度任用職員の期末勤勉手当の支給状況は。

市長 今年度6月分の支給対象者は1週間当たりの勤務時間が30時間以上の方145人、支給額は2千500万円ほどであった。

議員 総務省のマニュアルでは週15時間30分以上の方にだせるとなっているが他の市の状況は。

総務課長 20市中7市が30時間ライン、他市は国と同じか20時間を設定している。

市長 働きやすい環境に配慮し改善すべき点があれば努めていく。

質問・答弁の内容・文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。上記の専用コードからアクセスしてください。

空き家の現状と対策について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。上記の専用コードからアクセスしてください。



渡辺 栄六 議員

議員 現在の空き家数と実態把握の方法は。

市長 空き家の件数は令和5年度末で587棟である。実態把握の方法については、5年に一度実施する空き家の全数把握調査、年2回実施する危険空き家、大規模空き家に関する現地調査が主なものとなる。

議員 空き家対策特別措置法の一部を改正する法律が昨年施行され、特定空き家を防ぐための法改正となる一方で、相続問題では相続を拒むことに繋がると考えるが。

市長 相続放棄にならないよ

うに丁寧な説明をしていく。また、周辺に迷惑がかららないよう、適正に管理してもらえよう対応していく。

議員 相続人が特定できずに管理不全となっている空き家については、隣家に迷惑をかけるないように市で除草など最低限の措置を講ずるべきと考えるが。

市長 私有財産であることから、自らの責任で行うことが基本となるが、周辺に悪影響が大きいと判断される場合、行政が強制的なところも含めて考えていくべきと認識している。



河川の整備及び防災対策について

議員 胎内川の黒川橋付近は雑木が大きく繁茂し、橋の欄干の高さを超える大木となっている。台風や集中豪雨などで河川が氾濫し、雑木が橋脚にせき止められ、洪水や堤防の決壊となる可能性があるが対策は考えているか。



雑木が繁茂している黒川橋

市長 河床掘削や伐木処理について県に強く要望していく。

交通安全対策について

議員 黒川駐在所前の交差点は信号機のない変形五差路で、市道から県道に進入する際、左右の見通しが悪く、事故が多発しているが、事故防止対策は。

市長 市道側の交差点の手前に交差点注意などの路面標示を追加するほか、五差路を事前に認知し、注意を促すことを目的とした警戒標識の設置を検討する。



黒川駐在所前の交差点

洋上風力発電について



森本 将司 議員

議員 市長は7月にイギリスの先進地を視察したが本市に活かせるような取り組みはあったか。

市長 発電事業者や地域振興の財団担当者、地元自治体との意見交換及び洋上風力、ビジターセンターの見学ができたことが有意義だったと感じている。

議員 円安の時期だったが視察予算は十分だったのか。

市長 為替レートが高じる中で、できるだけタイトな日程で無駄の無いように調整した。当初より高くなったかもしれないが最小限に抑えるこ

とはできたと思う。



ランピオンビジターセンター

議員 これまでは洋上風力による収入として固定資産税が挙げられていたが、最近になって※出捐金もあると聞いた。先進地では市民に還元しているところが多いが、市長はこの活用をどのように考えるか。

市長 法定協議会において51億円となることが明らかになっている。これを胎内市、村上市、漁業関係者で分配する。具体的には、地域振興策や漁業振興策の原資として基金に積み立てるなどして活用

していくことになると思う。

長池展望台について

議員 4億円にのぼる建設費では市民の理解は得られないが減らす方策はあるのか。

市長 建設費の全額を一般財源で賄う考えはない。8割を国が負担する辺地債の活用を考えている。そもそも令和4年の災害復旧もあり建設を見送っている。今後も、無理やり作るうとは考えていない。

議員 展望台にこだわらず今まで通りの高所作業車を活用するなど代替案があっても良いのではないか。

市長 年間を通して櫛形山脈や海岸線を見てもらうことを目的としているため、チューリップフェスティバルに限定した代替案を考える実益はないと思っっている。

議員 基本設計から実施設計

で中身が変わることはあるのか。花畑に合うような木造の展望台にすることも費用は抑えられるのではないか。

市長 基本設計の形が実施設計につながることはむしろない。議員の言われたことも参考にしたい。



想定される眺望

※出捐金
発電事業者が、地域への貢献を目的に、地元自治体や漁業関係者へ任意で拠出する資金のこと。

質問・答弁の内容・文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。上記の専用コードからアクセスしてください。

胎内市生涯学習施設整備について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。上記の専用コードからアクセスしてください。



坂上 清一 議員

議員 胎内市の未来を担う子どもたちや市民のためにも、早急に生涯学習施設整備が必要と考えるが、今後どのような計画で整備していくのか。また、令和5年3月に基本構想が示され、今回基本計画（案）が示されたが、検討に入ってから長い期間を費やした原因は何か伺う。

市長 ワークショップにおいては小中学生や高校生、大学生等をメンバーに加え『あったらいいな、こんな生涯学習施設』というようなテーマで話し合いを行ってきた。また当該施設整備の検討の際に

市内の民間事業者から※1 P P / ※2 P F I に係る導入の勧めがあり、具体案の提示があるものと期待していたが、残念ながら事業化への提案はなかったため、その間導入の検討が進展しないまま現在に至っている。早期の構想実現に向け鋭意取り組んでいく。

議員 展望台建設の話もあるが生涯学習施設のほうが優先すべきと思うが、市長の考えを伺う。

市長 全く同感である。早く叶えられたらそれが市民ニーズに合致するものと考えている。



老朽化が進んでいる胎内市図書館

本市の農業が抱える問題と将来に向けての解決策について

議員 胎内市の農業は岐路に立たされている。スマート農業など様々な対策があるが、市長はどのように農業の未来を考えているのか。

市長 何よりも大切なことは売れる農産物の生産であり、儲かる農業の確立であると考える。それによって担い手が生まれ、持続可能な農業に繋がっていくと思う。



基盤整備が進む農地（平木田柳原地内）

健康保険証の廃止に伴う市の対策について

議員 国は本年12月2日以降、現行の健康保険証の新規発行を終了し、マイナンバーカードを基本とする仕組みを進めるとしているが、今後の市の対応は。

市長 国民健康保険については、カード未取得の方とカードと保険証の紐づけを行っていない方には、健康保険証に代わるものとして資格確認書を交付し、現行の健康保険証同様に、引き続き一定の窓口負担で受診できるよう努める。

※1 PPP
公共サービスの提供において行政と民間企業が協力する枠組みのこと。

※2 PFI
民間の資金や技術を公共施設の運営に活用する手法のこと。

えんてい
治山堰堤・砂防堰堤について



増子 達也 議員

議員 羽越水害以降、本市において数多くの治山堰堤が造られ、その役割を果たしてきたが、羽越水害より57年が過ぎ、治山堰堤の老朽化が懸念される。当市に設置されている治山堰堤及び砂防堰堤の総数は。また点検はどのように行っているのか。

市長 県に確認したところ当市に174基の治山堰堤が設置されており、およそ10年に1回の間隔で施設及び周辺の状態を目視により点検しているとのこと。砂防堰堤の総数は67基で、点検は治山堰堤と同様であるとのことだった。

議員 直近で総点検が行われたのはいつか。

農林水産課長 平成22年度に174基を点検し、全て機能は保たれているとのことだった。

議員 直近の点検から14年が経過し点検時期に来ているが、点検を行う予定はあるのか。

農林水産課長 県に確認したが点検の日程は決まっていない。集落の方から情報をお願いしながら県に伝えていきたい。



坂井地内の治山堰堤

洋上風力発電について

議員 洋上風力発電の建設にかかる費用はどれくらいか。

また固定資産税はどの程度を見込んでいるのか。

市長 事業費は現時点で明らかにされていない。固定資産税は洋上風車や陸上変電所などが課税客体となり、課税標準額に14%の税率を掛けたものが基本となる。ごく大まかな期待値として10億円程度になるのではないかと思われる。

長池憩いの森公園について

議員 展望台の維持管理費はどの程度を予定しているのか。

市長 様々な人件費や多額の光熱費等が必要な施設と比べ

れば、極めて廉価に抑えられると考えている。

議員 夜間の施設はするのか。また冬季間の営業は考えているのか。

市長 夜間の利用は想定していない。冬季間の非常に風が強い時、風雪が毎日続くような時は、閉館を考えている。ただこの施設自体、まだまだいろいろな課題があつて、現実に設置するかは定かではない。



長池憩いの森公園

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。上記の専用コードからアクセスしてください。

ゲリラ豪雨の対策について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。上記の専用コードからアクセスしてください。



丸山 孝博 議員

議員 2年前の8月4日の水害後、排水について改良工事が行われ、一定の被害軽減効果があった。しかし、今年8月25日の豪雨では、必ずしも十分ではない場所があった。二度と被害が発生しない対策として、若松町の北排水処理場の拡大・増設、北公園の東側一部を切土する、道路冠水が常態化している箇所の総点検、排水箇所の改良などで地域住民が安心して住み続けられるよう対策が必要と考えるがどうか。

市長 北排水処理場の機能拡大について、さらに検討する



若松町の道路冠水（8月25日）

段階にきていいると考えている。道路冠水箇所の総点検及び排水箇所の改良についても、必要に応じて改良するなど、安全の確保に努める。

議員 8月25日の豪雨時の雨量は。

市長 17時から18時で、62.5ミリであった。

議員 2年前に若松町で水害があった後、若松町と二葉町に地下浸透貯留槽の設置などがされたが、それによって雨量はどの程度であれば大丈夫だという計算だったのか。

地域整備課長 おおむね1時

間に45ミリと想定されている。

議員 そうすると45ミリを超える対応できないことになる。若松町は住宅密集地、安心して住める状況にすべきだかどうか。

市長 憂いを最小限にしているのか考慮し、実施すべきは実施していく。

土砂災害について

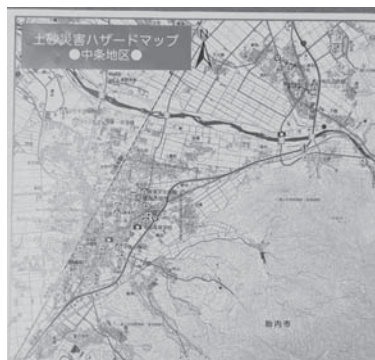
議員 ハザードマップによる土砂災害警戒区域に居住する地域ごとの世帯数と人数について。

市長 市内の土砂災害警戒区域等は91箇所。黒川地区で69箇所、282世帯、770人。中条地区では22箇所、91世帯、236人である。

議員 土砂災害警戒区域に住んでいる人は約1千人、土砂災害の対策事業は、国県含め

て何かやっているのか。

総務課長 様々な事業を行っている。県が整備している土砂災害警戒情報システムを用い早い段階で災害リスクを把握できるなど主にソフト事業をメインに取り組んでいる。



市のハザードマップ

【その他の質問】

- ・暑さ対策について
- ・国民健康保険について
- ・中学校の再編について

洋上風力発電事業について



渡辺 宏行 議員

議員 操業期間中、事業が拠点化されることにより、将来的には部品工場等、関連企業の立地によるサプライチェーンの構築に期待ができ、雇用の確保と地域の活性化につながると思うが、胎内市の拠点化についての考えは。

市長 洋上風車の多くが設置されるであろう胎内市において、大きな経済活動が展開されることは、紛れもない現実の営みであり、将来的なサプライチェーンの構築や雇用、地域活性化など、今後の広がりにつながっていくのではないかと考えている。拠点化に

については、コンソーシアムにも積極的に考えてもらいたいことをこれまででも伝えてきている。

議員 洋上風力発電が国の電源立地地域対策交付金の対象になるよう国に要望する考えは。

市長 現在、全国洋上風力発電市町村連絡協議会の場において勉強会を行いながら検討しているところであり、協議会として要望するとなれば、当然のこととして歩調を合わせ、要望していく。

空き家対策について

議員 空き家対策推進法の一部が改正され、令和5年12月に施行されたが、改正に伴い胎内市空き家対策計画の見直しの考えは。

市長 法改正に伴い、現在の市の計画も見直しを行っており、年度末の対策協議会に諮り改定する予定である。

議員 空き家は私有財産であり、所有者の責任において適正な管理が基本であるが、危険な空き家を抑制するためにも解体費用の一部を補助する考えは。

市長 空き家所有者を対象としたアンケート調査によると、解体費用を捻出するのが難しいとの意見が多いことから、現在、解体費用の一部補助について来年度開始を視野に入れて制度設計を行っている。



空き家

スクールバスの運行について

議員 スクールバスの乗車確認と緊急時の連絡体制は。

教育長 乗車確認は、発車時までに停留所に集合している児童生徒を、当日の利用者としてバスの運転手が乗車を確認し、対応している。緊急時の連絡体制は、バス会社と学校、教育委員会が電話で連絡を取り合っており、保護者への連絡は、電話またはメールで対応している。

質問・答弁の内容・文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。上記の専用コードからアクセスしてください。

常任委員会審査

総務文教

胎内市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

消防団員の確保が困難な現状に鑑み、実情に即した定数の見直しを図るため、所要の改正を行うもの。具体的には、基本団員の定数630名から580名に減らす提案である。

質問 年々若者が少なくなり消防団に入る人がいない中、小さい集落は維持するのも大変だと思いが今後どうするのか。

答弁 今の消防団の数が少ないかという可他市と比べ少ない方ではない。ただ、活動自体に支障が生じないよう、消防団の組織改編を行ってきている。黒

川、中条、築地、乙と4つの方面隊があり、火災があった場合に方面隊全体で対応し、足りなければ他の方面隊から応援することで構成されているので、現状支障はない。

質問 団員の確保は全国的に変だとしてよく聞く話だが、現在の630人に対し、どのくらいの充足率か。

答弁 消防団員の数は、他の市と比べ少ないことはなく、20市で言えば、千人当たりの消防団員で比較すると上から8番目、真ん中あたりで、極端に少ないということはない。充足率は、90.3%である。

厚生環境

個人番号カードと健康保険証の一体化に伴う関係条例の整理に関する条例

健康保険証が廃止され、個人番号カードに一体化されることから関係する条例について、整理を行うもの。施行日は令和6年12月2日となる。

質問 マイナンバーカードが保険証に代わるが、持っていない人はどういう対応になるのか。

答弁 保険証は来年の7月31日まで有効となっている。マイナンバーカードを持っていない方、カードに保険証を紐づけていない方には、来年の8月1日以降に向けてA4の「資格確認書」を送る。マイナンバーカードをもっていて保険証と紐づけられている方にはA4の「資格情報のお知らせ」を送る。

質問 今、マイナンバーカードの普及率は。持っていない人はどれくらいか。

答弁 マイナンバーカードの普及率は、8月末時点で81.45%。保険証に紐づけられている割合は6月末時点で、国民健康保険で70.06%、後期高齢者医療保険で62.37%である。



オンライン資格確認端末

付託された他5件についても可決すべきと決定した。

まちづくり

地域産業振興事業特別会計補正予算

歳入歳出予算に159万7千円を追加するもの。歳出のワイン製造施設運営事業費はワイン用樽を購入するため20万円増額し、予備費を139万7千円増額した。

質問 予備費はワインの販売促進に係ることに充当できるのか。

答弁 その通りである。地域産業の予備費は農産物加工施設や水工場施設の運営費、ワイン事業などの活性化に充当できる。

令和5年水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

未処分利益剰余金のうち6千901万5千256円を資本金に組み入れ、1億2千916万6千514円

を減債積立金に積み立てることについて、地方公営企業法の規定に基づき諮るもの。

質問 水道会計の内部留保はいくらあるのか。

答弁 現金預金残高が7億1千392万8千376円である。

質問 猫山の配水管工事は総額いくらで、起債はいくらか。

答弁 2億5千万円ほどで起債も同額の予定である。

質問 7億円の残高があつてなぜ起債を起こすのか。

答弁 留保はある程度必要であり、総合的な判断の上で起債を選択している。

付託された他5件についても可決すべきと決定した。

令和6年 第3回定例会議決結果

全会一致で可決された議案

<p>令和6年度補正予算</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般会計補正予算（第4号） 一般会計補正予算（第5号） 一般会計補正予算（第6号） 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 黒川歯科診療所運営事業特別会計補正予算（第1号） 地域産業振興事業特別会計補正予算（第1号） 鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算（第1号） 農業集落排水事業会計補正予算（第2号） 水道事業会計補正予算（第2号） 簡易水道事業会計補正予算（第1号） 	<p>条例の一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人番号カードと健康保険証の一体化に伴う関係条例の整理に関する条例 印鑑条例の一部を改正する条例 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
<p>人事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会委員の任命【佐藤康広氏】 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和5年度簡易水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
<p>議員提出議案</p> <ul style="list-style-type: none"> 私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書（国・県）【提案者：寛智也 議員】 	

※上記議案は全会一致で可決されたため、議決賛否表を省略。※令和5年度各会計決算の認定については2～4ページに記載。

意見書を可決しました

私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため 私学助成の増額・拡充を求める意見書

全国の高校生の約3割（新潟県では約2割）が私立高校で学んでおり、私立高校は公立高校と同様に公教育に重要な役割を果たしています。

2020年度の高校等就学支援金制度拡充により、年収590万円未満の私立高校生がいる世帯に上限39万6,000円の支援金が支給され、新潟県では、ほとんどの私立高校で当該世帯の授業料無償化が実現しました。しかし、就学支援金制度の対象が授業料のみに限定されているため、入学金や施設設備費の保護者負担は残され、年間で最大約24万円の負担となっています。

一方、年収590万円以上の世帯では、就学支援金が11万8,800円にとどまるため、学費負担が年間約47万円とさらに重くなります。公立高校が5,650円の入学金のみの負担で済むことに比べると、学費の格差が最も広がる世帯となります。

また、私立高校の教育条件の維持・向上を図るうえで、経常費助成予算の増額が求められます。学校教育現場では、教員の長時間勤務が社会問題となり、教員のなり手不足や教員未配置問題も深刻な状況になっています。とりわけ新潟県私立高校では公立との比較において専任教員が不足している状況であり、全教員に占める専任教員の割合が、公立で約74パーセントを占めるのに対して、私立は約59パーセントにとどまっています。

私立高校は、それぞれが「建学の精神」に基づく独自の教育を推進しており、その学校独自の教育の伝統を継承していく専任教員の存在は不可欠であり、また、一人一人の生徒にゆきとどいた教育を行うため、専任教員の増員を可能とする経常費助成の増額が求められます。

政府及び国会におかれましては、私立高校生が学費の心配なく学ぶことができるとともに、専任教員を増員し一人一人の生徒にゆきとどいた教育が行えるよう、下記の事項について特段の措置を講じられるよう要望いたします。

記

- 1 私立高校生への就学支援金制度を拡充し、年収590万円以上910万円未満世帯を授業料無償にすること。
- 2 私立高校入学金への新たな助成措置を講じること。
- 3 私立高校において専任教員の増員が可能となるよう、経常費助成を増額すること。

(提出先)

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 文部科学大臣
※上記提出先以外に新潟県知事にも意見書を送付しています。

委員会視察報告

まちづくり委員会

◇視察日 7月9日

◇視察先 秋田県能代市

【洋上風力発電を活用した
地域産業と観光の振興につ
いて】

令和4年12月より全国初となる洋上風力発電の商業運転が開始された。規模は4千200kw×20基で8万4千kwとなる。6社からのコンソーシアムに7社の地元企業からの出資を募り、秋田洋上風力発電(株)を運営し、地元企業への事業発注を円滑に行えるようにしている。事業費のうち2億円を市民ファンドに充てたり、

洋上風力関連の人材育成に補助金を出すなど市民への環元にも市として取り組んでいる。

◇視察日 7月10日

◇視察先 岩手県大船渡市

【被災市街地の復興について】



洋上風力発電を活用した地域産業と観光の振興について視察

東日本大震災の津波被害により、大船渡湾沿いの住宅はほぼ流されたが現在は70の商業施設や企業からなる「おおふなとぼーと」として復興が進んでいる。市が中心となり土地を買い上げ、それらを有志に貸すことで商業圏を形成している。人を育てることも力を入れており、年間200以上のイベントを継続して行っている。

市内の中学生が議会を訪問しました

10月11日、市内の中学1年生と中条高等学校の1年生を対象とした「職ナビゲーション」が中条高等学校、産業文化会館、市役所で開催されました。将来のキャリア形成の一助として、様々な職業を紹介するこのイベントで、生徒たちは本会議場を訪問し、議員と直接質疑応答を行いました。生徒



議場を訪れた中学生

からは「議員を仕事にしているときに一番大切にしていることは何ですか?」「この仕事の大変さは何ですか?」といった議員の仕事に関する質問や、「女性が議員になるのは難しいですか?」「議員になるには大学を出ないとはいけませんか?」といった議員になるための方法についての質問もありました。質疑応答の後には、委員会室や正副議長室などを見学し、議会について理解を深めていただきました。

閉会中調査のその後

まちづくり常任委員会

議会だよりNo.82号にて、まちづくり常任委員会の閉会中所管事務調査として、新潟フルーツパーク・黒川フルーツパーク・胎内高原ワイナリーの各現場を視察した調査報告書を掲載した。

そのうちのひとつ、胎内高原ワイナリーにおいて、各種ワイン製造に関して説明を受けた。

ワイン製造施設運営事業については、予算審査・決算審査の際にも議題になる案件であり、視察した委員から、製造担当者や担当課へ「在庫の状況」や「今後の販売戦略」を中心に質問がなされていた。

その後

第2回定例会にて、市長より秋にワインの魅力を広める会を催す旨説明があり、市主催で10月5日ロイヤル胎内パークホテルにて「ソムリエ松木リエ氏と胎内高原Wineを楽しむ会」が開催され、参加者85人を迎えてのイベントは大盛況となった。

今後もこのような知名度アップや販売促進が見込まれる事業が多く開催され、当市へ来訪いただける関係人口の増加や、魅力発信に繋がっていくことを期待する。



ソムリエ 松木リエ氏

2024年 **議会の動き**

令和6年第4回定例会の日程(予定)

- 11月** 26日 議会運営委員会
- 12月** 3日 本会議(初日)
- 6日 議会運営委員会
- 10日 総務文教常任委員会
- 11日 厚生環境常任委員会
- 12日 まちづくり常任委員会
- 17・18日 一般質問
- 20日 本会議(最終日)

ぼくの宝物は家族と友達です。家族はぼくを温かく育ててくれ、友達が自分を成長させてくれるからです。胎内市親善陸上競技会では、その人たちの応援のおかげで、強い気持ちで幅跳びの競技に挑むことができました。



中条小学校 6年
飯沼 優貴 さん
の作品です。

なまってるんでにゃん
No.1 By IKE
かっぺこいだ

意味 池や川、水たまりなどにうっかり浸かってしまったときに使われる
主に黒川地域で使用

表紙の写真 [椎谷さんファミリー]
「胎内市の未来を担う子どもたち」

私の将来の夢は……

左から
椎谷 友陽さん(6歳) 生き物を集める人
風友さん(10歳) ペットショップの店員
麻友さん(6歳) 会社員



議会報編集特別委員会 新メンバー

後列左から 羽田野孝子委員、坂上隆夫委員、筧智也委員
前列左から 増子達也副委員長、森本将司委員長、渡辺秀敏委員

編集後記

今号より新たなメンバーでの発行となります。他所の自治体では編集を事務局や専門業者が行っていることもあり、当市では議員自らで校正しています。新たな方言のコーナーも委員会メンバーのアイデアによるものです。作画は春まで市報たいないで「それいけ!天下泰平くん」を掲載していたIKEさんにお願ひしました。次号以降も楽しみにしていただけると幸いです。

(森本 将司 記)

